

ざっくり  
黙示録

⑤

# 大患難時代 封印の裁き

黙示録6章

## 【今日のアウトライン】

### 0. ふりかえり

#### I. 大患難時代とは

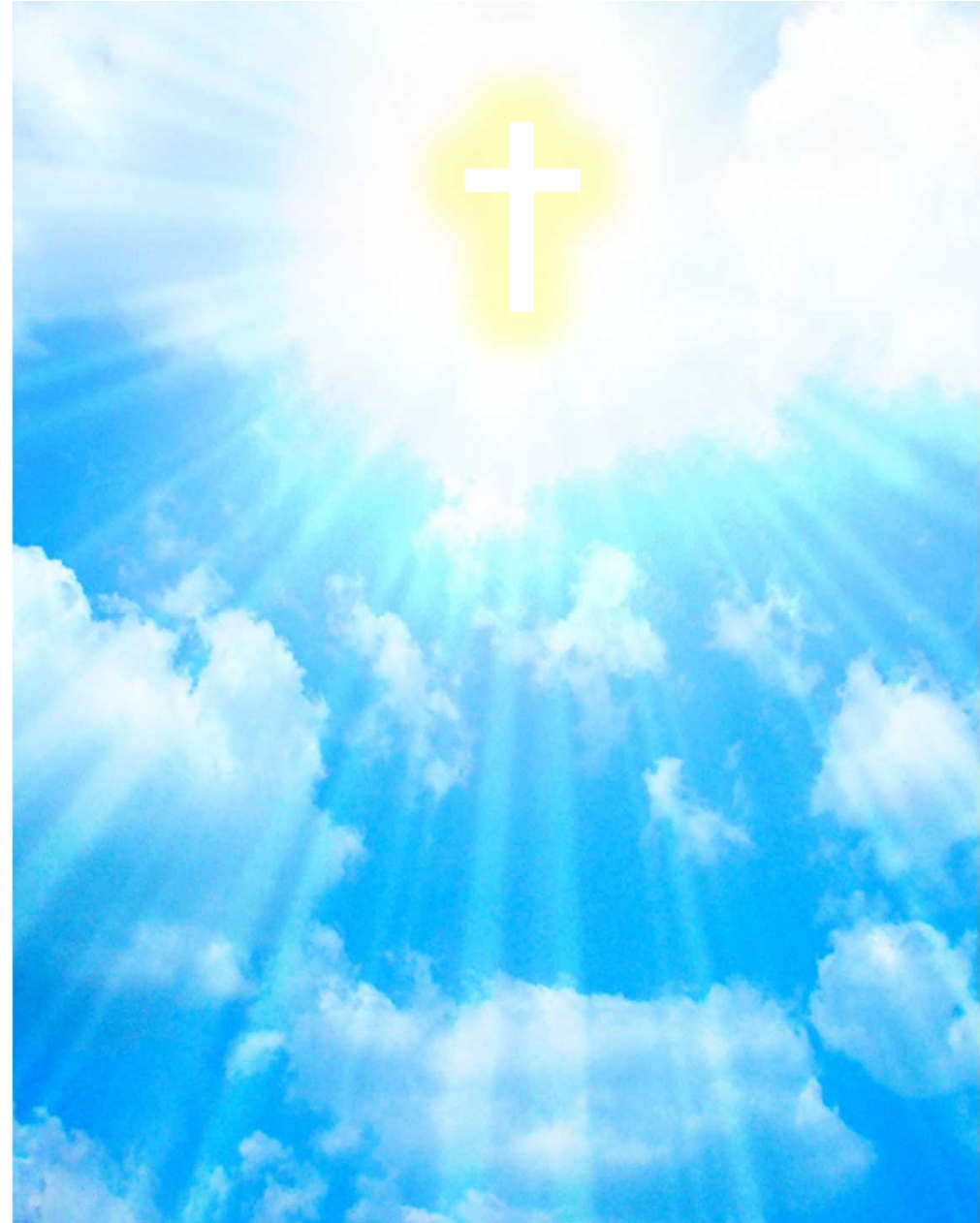
#### II. 封印の裁き 6章

#### III. イエスの予告と終末論

#### III. まとめと適用

福音を信じた者の希望

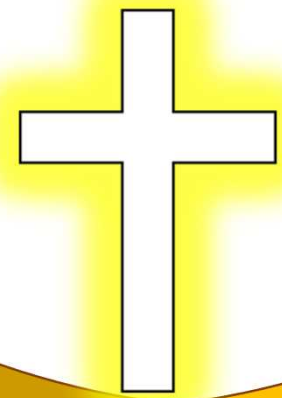
大患難時代の希望



**【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】**

天地創造  
人類の墮罪

キリストの  
十字架の  
死と復活



今の時代(教会時代)

**～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～**

## 【なぜイエスは、すぐに来ないのか？】

- 再臨のイエスは、王の王として、「裁き主」として来る。
- その時、あらゆる悪は裁かれる。裁きを免れる人は、一人もいない。
- 一人でも多くの人が、福音を信じて救われるための、“猶予期間”が、今の時代!!

イエスが来られる前か、あなたが死ぬ前に、福音を信じなさい、ということ!!



★ イスラエルの歩み ★

【千年王国】

黙示録

メシア再臨

【大患難時代】

異邦人の時

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

土地の契約

【荒野の四〇年】

モーセ契約

【エジプト奴隷の四〇〇年】

出エジプト 前1290

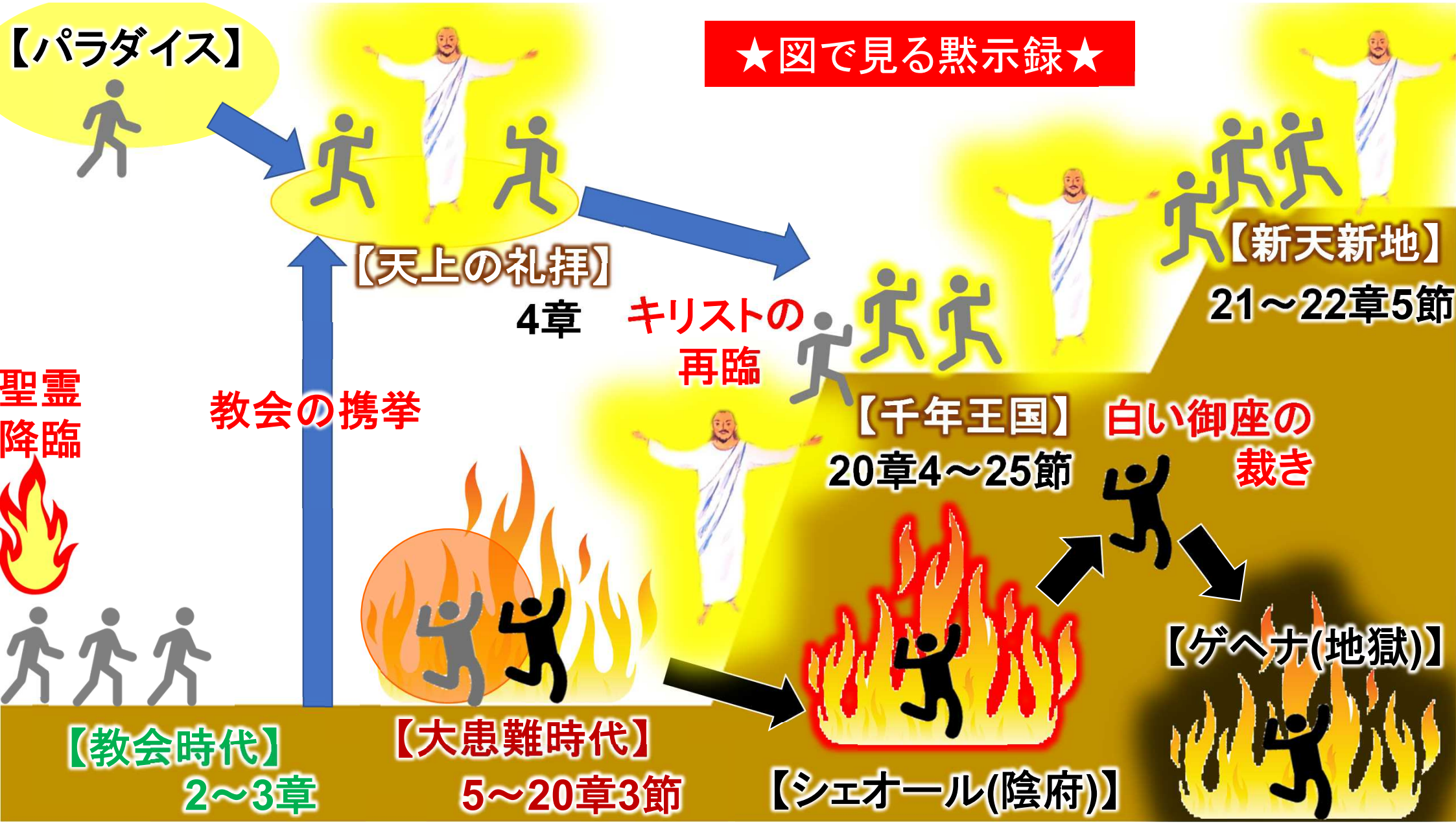
【族長時代】

アブラハム契約

## 黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節

★図で見る黙示録★



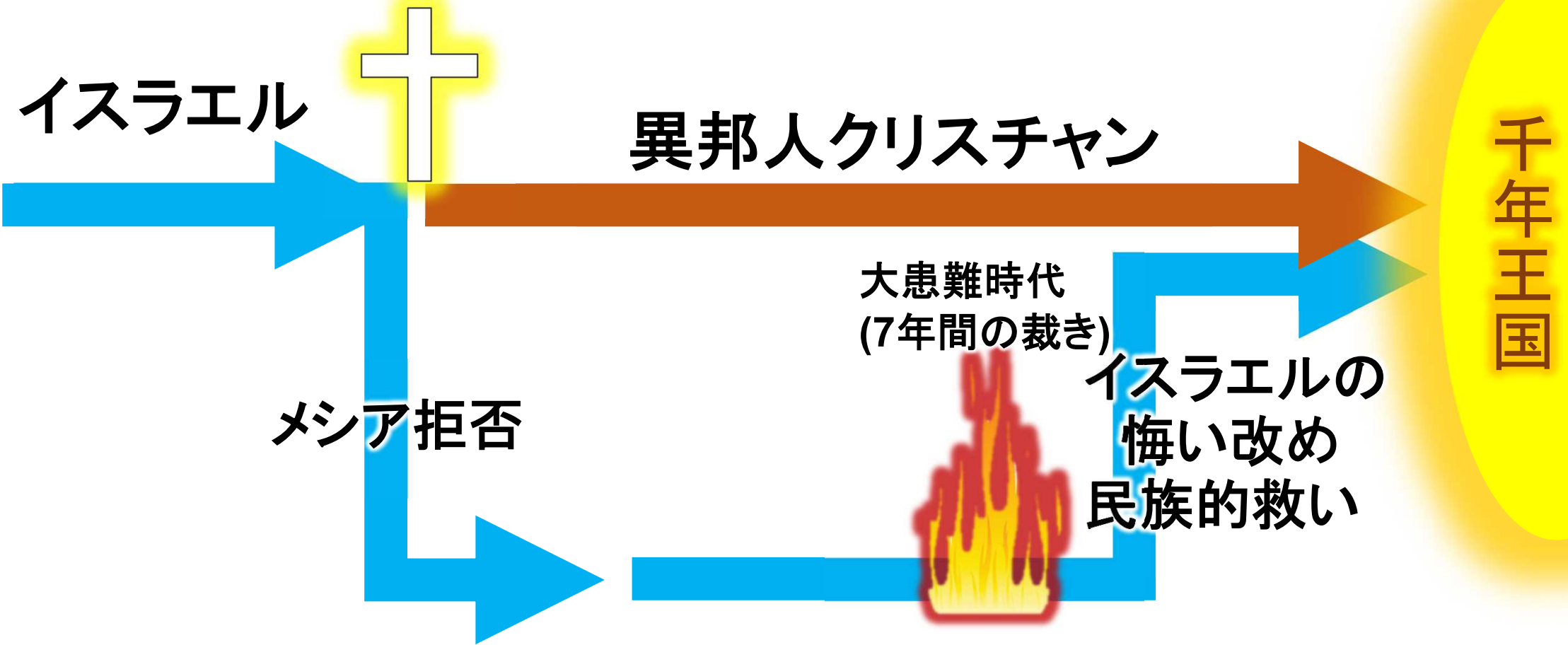
# I. 大患難時代とは？





【イスラエルに対する神の救いの計画】 ロマ11:25~26

「イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、こうして、イスラエルはみな救われるのです。」



# 【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦  
(ホロコースト)  
1914~

地震の激増

② イスラエル建国  
(不信仰なままの帰還)  
1948

③ エルサレム支配  
(旧市街占領)  
1967

(イスラエルの)  
表面的な平和と繁栄  
世界中で募る敵対心

④ 北方からの侵略

⑤ 世界統治機構

⑥ 反キリストと  
平和条約

大患難時代  
(7年間の裁き)

キリストの再臨  
イスラエルの回心

千年王国



## 【大患難時代とは？】

- 今の「恵みの時代」の最後の7年間。
- 聖書預言では、「**主の日**」とも呼ばれる。
- かつてない大災厄が地上を襲う。

## 【大患難時代の目的】

- ① 地上から悪と悪人を取り除くため。
- ② 全世界規模の霊的覚醒を起こすため。
- ③ イスラエルを民族的回心に導くため。

## 【大艱難時代の始まり】

- 教会の携挙の後。（その何年後かは分からない）
- **反キリスト**がイスラエルと7年間の契約を結ぶ時。  
→ 世界の支配者となる、サタンの化身。



## 【大患難時代の目的①】

### ①地上から悪と悪人を取り除くため。

「見よ。【主】の日が来る。残酷な日だ。憤りと燃える怒りをもって、地を荒れすたらせ、罪人たちをそこから根絶やしにする。」

イザヤ13:9

「地は裂けに裂け、地はゆるぎにゆるぎ、地はよろめきによろめく。地は酔いどれのように、ふらふら、ふらつき、仮小屋のように揺り動かされる。そのそむきの罪が地の上に重くのしかかり、地は倒れて、再び起き上がれない。」

イザヤ24:19～20



## 【大患難時代の目的②】

### ②全世界規模の霊的覚醒を起こすため

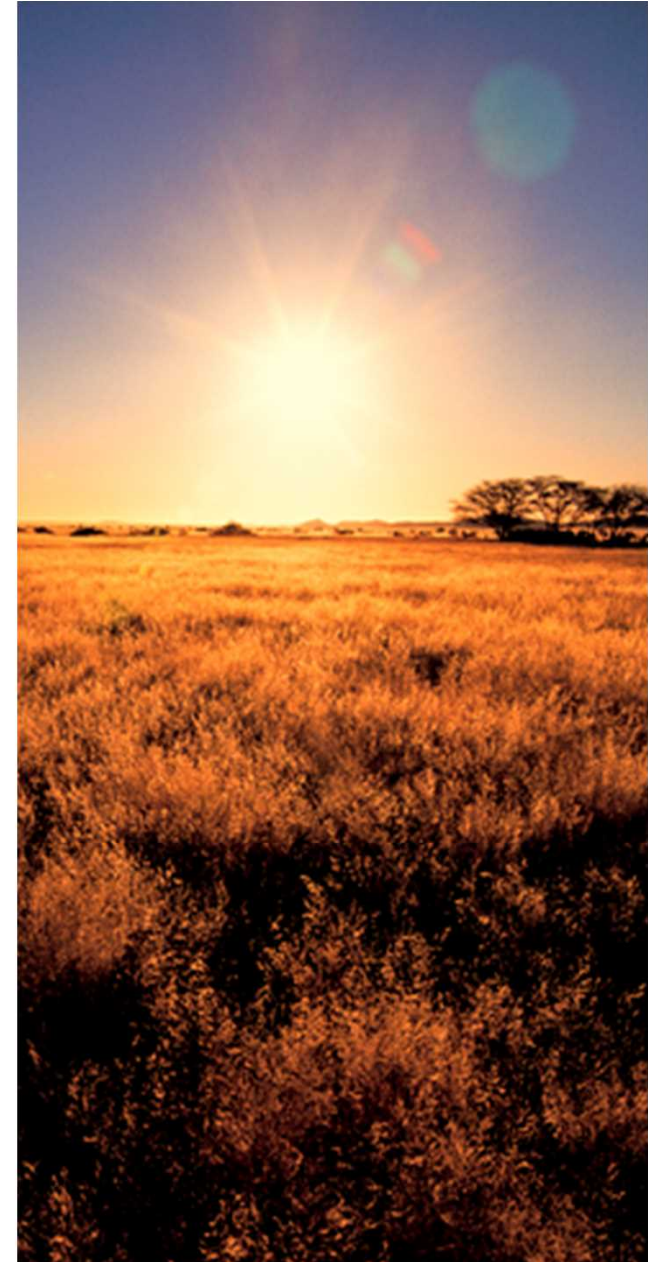
「この御国の福音\*は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」 マタイ24:14

■大患難時代の最後、主イエスが再臨される前に、福音は全世界に完全に宣べ伝えられる。

\* 御国の福音 ⇒ 間近に迫った主の再臨

“再臨される主イエスを信じること”

■悔い改めた14万4千人のユダヤ人が伝道者に!!  
反キリストによる大迫害の中で、かつてない数の人々が救われる。おびただしい殉教者も。



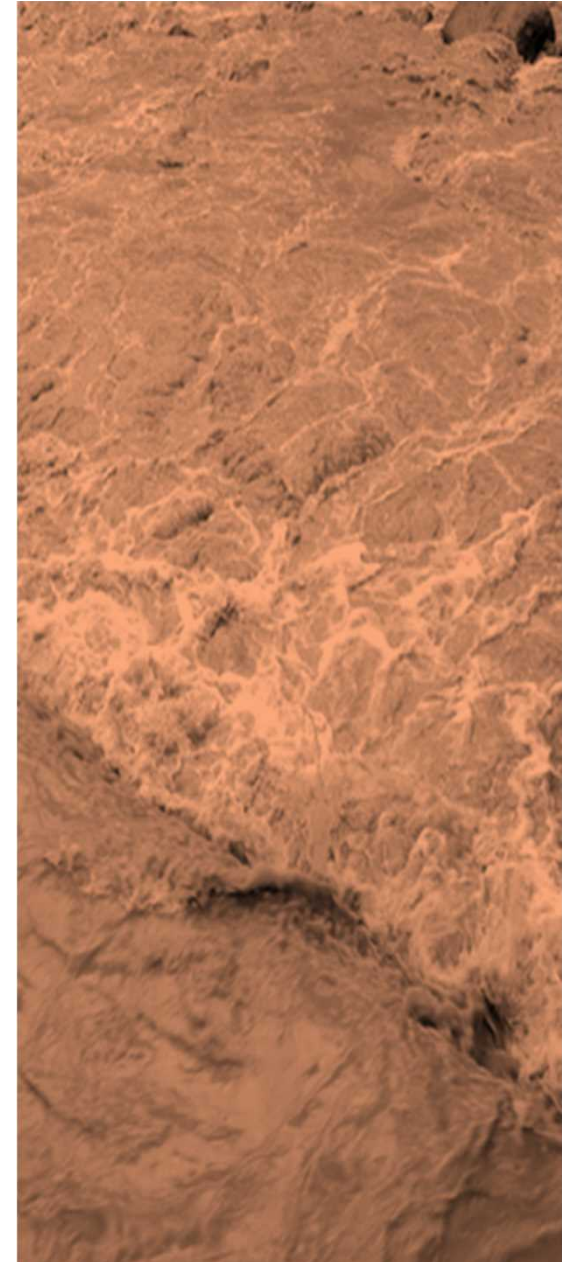
## 【大患難時代の目的③】

### ③イスラエルを民族的回心に導くため

「それは、ひと時とふた時と半時\*である。聖なる民の勢力を打ち砕くことが終わったとき、これらすべてのことが成就する。」 ダニエル 12:7

- 7年の大患難時代の半分の3年半が過ぎた時、反キリストは、イスラエルとの契約を破棄する。

\* 後半の3年半は、イスラエル民族殲滅のための苛烈な迫害が起きる。最後の戦いがハルマゲドン



# 【大患難時代に下る裁き】

三段階に分けて、神の裁きが下る

## ★前半の3年半★

①七つの封印の裁き

②七つのラツパの裁き

## ★後半の3年半★

③七つの鉢の裁き



# 【1. 封印の裁き】



こんなイメージ？



# 【2. ラッパの裁き】



# 【3. 鉢の裁き】





【1. 封印の裁き】



【2. ラッパの裁き】



【3. 鉢の裁き】



## 【①七つの封印の裁き】 黙6～7章

①反キリストによる世界征服

②世界大戦

③大饑饉

④世界人口の1/4の死

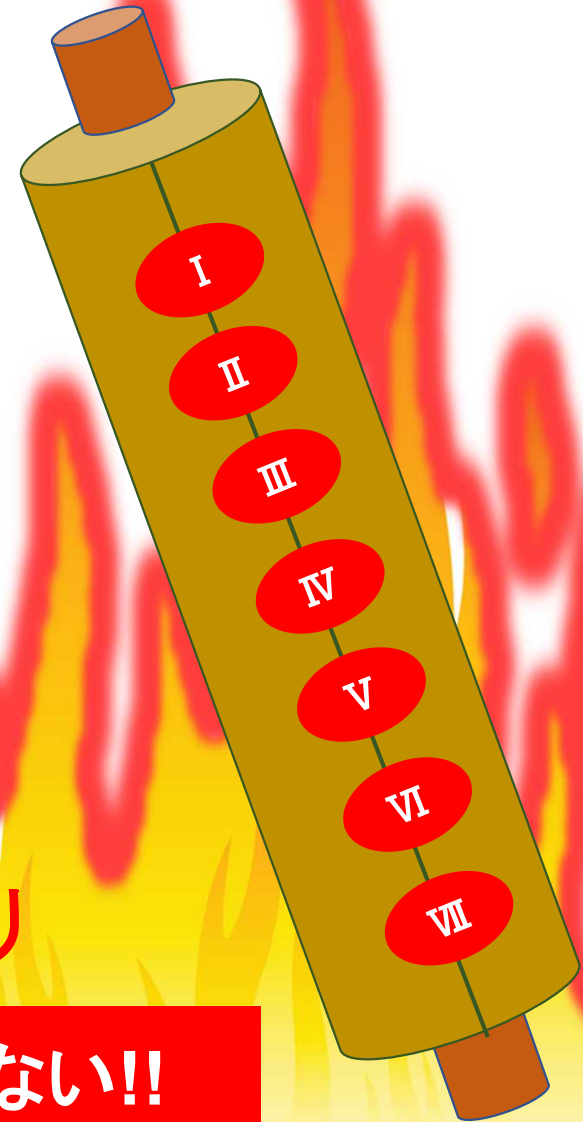
⑤聖徒の迫害

⑥自然界の異変



⑦さらに、次の「七つの災い」の始まり

これは、大患難時代の序盤戦に過ぎない!!



【②七つのラッパの裁き】 黙8～9章

①1/3の土地の滅び

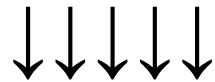
②1/3の海の滅び

③1/3の川、泉の滅び

④1/3の宇宙空間の滅び

⑤悪霊の侵入 (イナゴのような悪霊)

⑥悪霊の侵入 (黒い馬に乗った悪霊)



⑦さらに、最終的な「鉢の裁き」を告げる!!

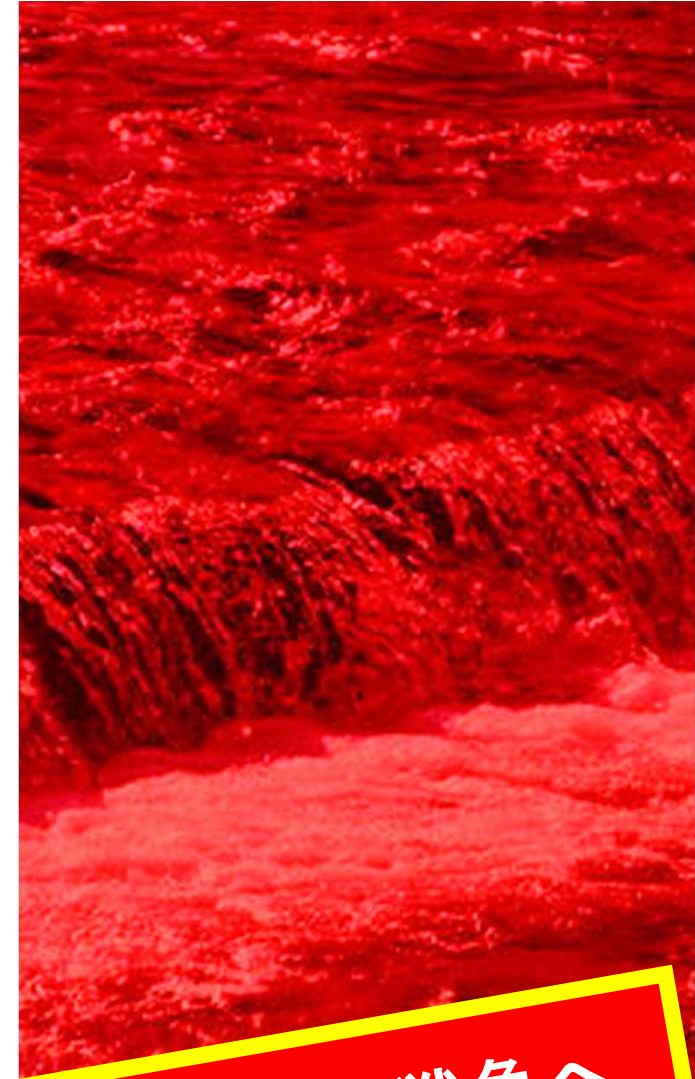


## 【③七つの鉢の裁き】 黙16章

- ①悪性のはれもの
- ②血に染まる海 海の完全な滅び
- ③血に染まる川と泉
- ④太陽に焼かれる
- ⑤獣の国(バビロン)が暗黒に包まれる
- ⑥ユーフラテス川が干上がる  
⇒ユダヤ人殲滅軍隊の進入路ができる
- ⑦汚れた三つの霊が悪の軍勢を招集する

「こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた」 黙16:16

ついに最終戦争へ



# 【ハルマゲドン(最終戦争)】

➡反キリストによる  
ユダヤ迫害のクライマックス!!

- ①世界中から招集された軍隊が、  
イズレエル平原に集結。
- ②ユダヤ人の避難地ペトラへ攻め込む。
- ③絶体絶命の危機の中、  
ユダヤ人が民族的回心にいたる。
- ④キリストが再臨され、  
悪の軍隊は、殲滅される。



■ ハルマゲドンで、世界中の軍隊が  
集結すると言われるイズレエル平原

■ アフリカ、アジア、ヨーロッパの通商路  
古代から、最も多く戦場となった地。

ハルマゲドンの名の由来  
メギドの丘(ハル・メギド)は  
平原の北西に位置

イエスの故郷ナザレ・突き落としの崖からの風景

## 【ナバテア人の古代遺跡ペトラ】

大艱難時代の後半、大迫害から  
イスラエルが逃れる地(ボツラ)とされる。



★図で見る黙示録★

【パラダイス】



【天上の礼拝】

4章 キリストの再臨

教会の携挙



聖霊降臨



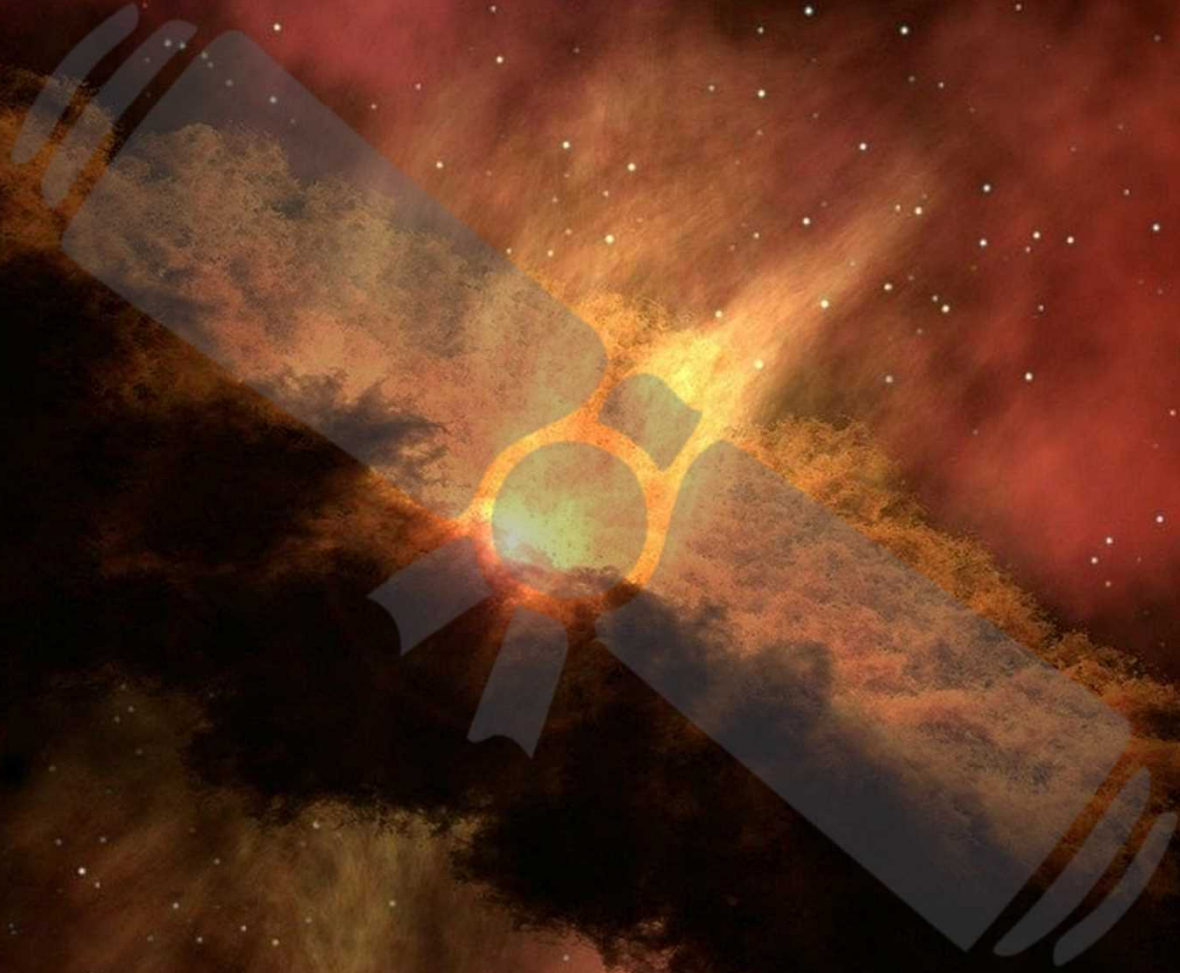
【大患難時代】  
5～20章3節

【教会時代】  
2～3章



## Ⅱ. 封印された巻物

黙示録6章



## 【七つの封印の裁き】 黙6～7章

①反キリストによる世界支配

②世界大戦

③大饑饉

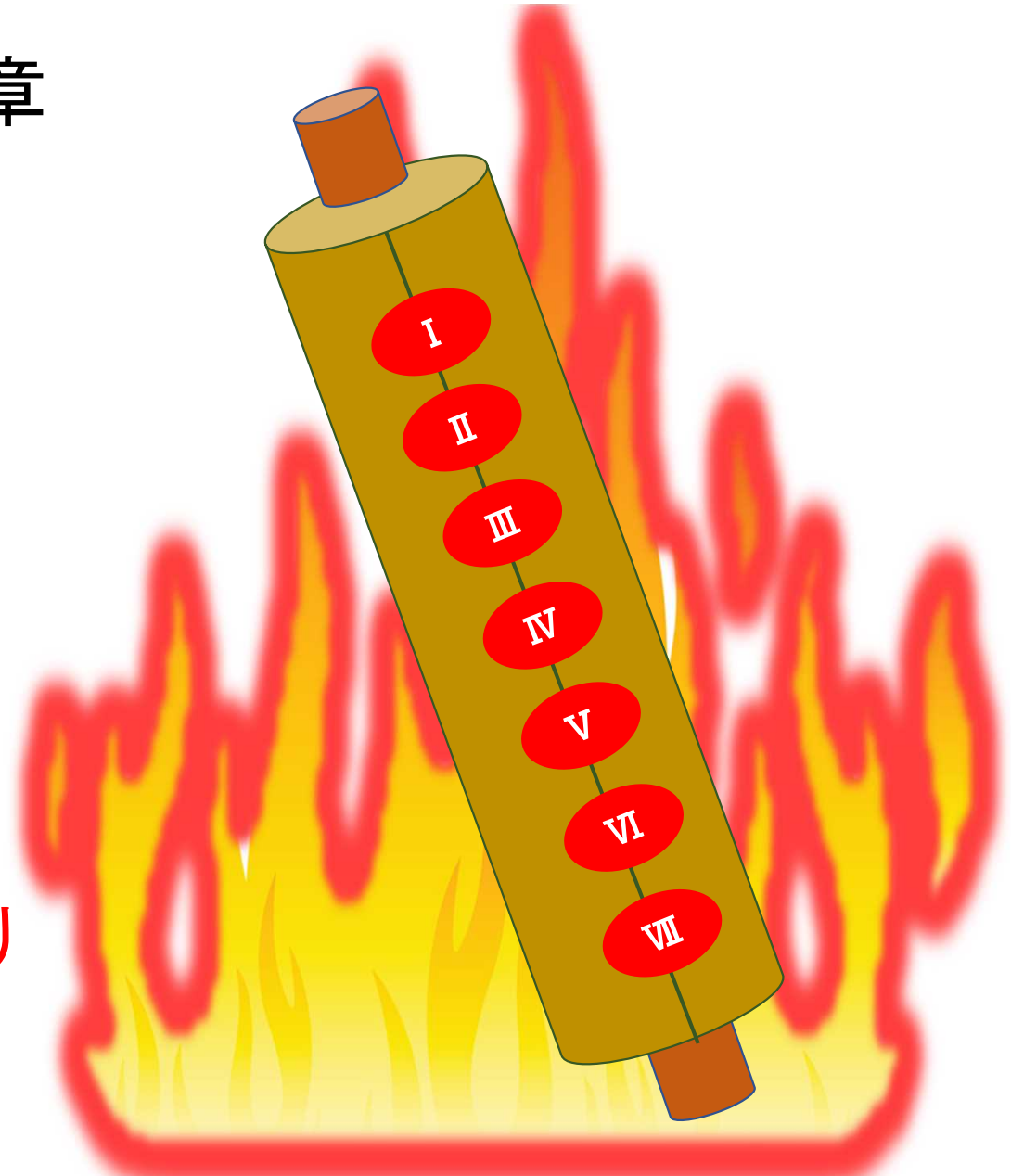
④界人口の1/4の死

⑤徒の迫害・殉教

⑥天変地異



⑦次の「七つの災い」の始まり



## 【第一の封印が解かれる】 黙6:1

また私は、**子羊\***が七つの封印の一つを解くのを見た。そして、**四つの生き物の一つ\***が、雷のような声で「来なさい」と言うのを聞いた。

\* **子羊** ...栄光のイエス・キリスト

\* **セラフィムの一つ**

...天の礼拝を司る御使い・天使

■ **キリストが、7つの封印の一つ目を解いた。**

■ **天使が、裁きをもたらす者を呼び出した。**



## 【第一の封印】 黙6:2

私は見た。すると見よ、白い馬\*がいた。それに乗っている者は弓\*を持っていた。彼は冠\*を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得るために出て行った。

- \* 白い馬 ...勝利の象徴。凱旋で使用された。
- \* 弓 ...戦いの象徴。狡猾な戦士のイメージ?!
- \* 冠 ...ステパノス。勝者の冠。月桂冠。

- キリストによく似ているが、キリストではない!!
  - ➡ 天使に呼び出された。下位の霊的存在。
  - ➡ 勝利の冠だけで、王冠はない。王ではない。

大患難時代に世界の支配者となる反キリスト



## 【第二の封印】 黙6:3~4

子羊が第二の封印を解いたとき、私は、第二の生き物\*が「来なさい」と言うのを聞いた。すると別の、火のように赤い馬\*が出て来た。それに乗っている者は、地から平和を奪い取ることが許された。人々が互いに殺し合うようになるためである。また、彼に大きな剣が与えられた。

\* 第二の生き物 ...二体目のセラフィム。

\* 火のように赤い馬 ...血を示す。

■ 世界的な戦争がもたらされる。

大患難時代の7年間に起きる、3回の戦争の最初。

➡最後が、イスラエル殲滅のハルマゲドンの戦い。



## 【第三の封印】 黙6:5～6

子羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が「来なさい」と言うのを聞いた。私は見た。すると見よ、**黒い馬\***がいた。これに乗っている者は秤を手に持っていた。私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の真ん中でこう言うのを聞いた。「小麦一コイニクスが一デナリ。大麦三コイニクスが一デナリ。オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。」

\* 黒い馬 ... 悲しみと嘆きの象徴。

\* コイニクス(柶) ... 約1ℓ。 1デナリ ... 労働者の日給。

■ 世界的大飢饉で、穀物の値が暴騰する。

➡ 最低限の食料や医薬品は保たれる。



## 【第4の封印】 黙6:7～8

子羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が「来なさい」と言うのを聞いた。私は見た。すると見よ、青ざめた馬\*がいた。これに乗っている者の名は「死」で、よみ\*がそれに従っていた。彼らに、地上の四分の一を支配して、剣と飢饉と死病と地の獣によって殺す権威が与えられた。

\* 青ざめた馬 ...蒼白。青白い色は、死の象徴。

\* よみ(陰府) ...ハデス。シオール。死者の世界。

■ 地上の4分の1の人々が殺される。



## 【神の裁きに用いられる四種の馬】 ゼカリヤ書6:1～5

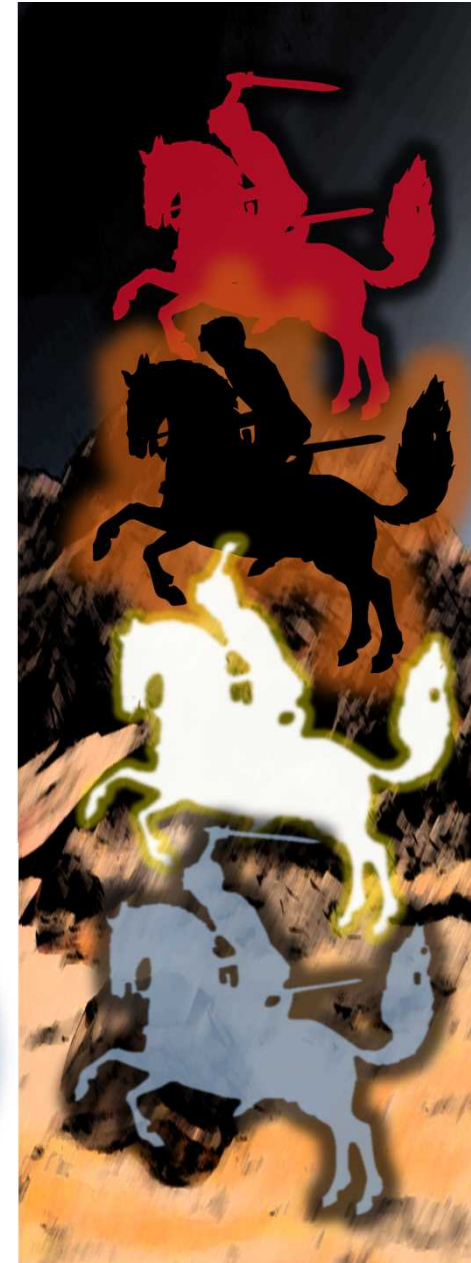
私が再び目を上げて見ると、なんと、四台の戦車が二つ山の間から出て来た。山は青銅の山であった。

第一の戦車には**赤い馬**が、第二の戦車には**黒い馬**が、第三の戦車には**白い馬**が、第四の戦車には**斑毛\***(まだらげ)の強い馬が、数頭ずつつながっていた。

私は、私と話していた御使いに尋ねた。「主よ、これらは何ですか。」御使いは答えた。「これらは天の四方の風だ。全地の主の前に立った後に、出て行くことになる。」

\* **斑毛** ...聖書では2か所のみ(創31:10,12)

■ 裁きに用いられる**赤、黒、白、斑(青)**の天馬。





## 【第五の封印】 黙6:9～11

子羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てた証しのゆえに殺された者たちのたましいが、祭壇の下にいるのを見た。彼らは大声で叫んだ。

「聖なるまことの主よ。いつまでさばきを行わず、地に住む者たちに私たちの血の復讐をなさらないのですか。」

すると、彼ら一人ひとりに白い衣が与えられた。そして、彼らのしもべ仲間で、彼らと同じように殺されようとしている兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように言い渡された。

■ 大患難時代に、かつてない数の人々が福音を信じる。

➡ 一方で、大迫害によって、おびただしい殉教者が出る。



## 【第六の封印】 黙6:12～14

また私は見た。子羊が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。太陽は毛織りの粗布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。そして天の星が地上に落ちた。それは、いちじくが大風に揺さぶられて、青い実を落とすようであった。天は、巻物が巻かれるように消えてなくなり、すべての山と島は、かつてあった場所から移された。

■ 第6の封印の裁き以降、神の直接の介入がなされていく。

➡ 天変地異を伴う、空前絶後の災厄に突入していく。

「イザヤ 34:4 天の万象は朽ち果て、天は巻物のように巻かれる。その万象は枯れ落ちる。ぶどうの木から葉が枯れ落ちるように。いちじくの木から実がしぼんで落ちるように。」



## 【第六の封印】 黙6:15～17

地の王たち、高官たち、千人隊長たち、金持ちたち、力ある者たち、すべての奴隷と自由人が、洞穴と山の岩間に身を隠した。\*

そして、山々や岩に向かって言った。\*「私たちの上に崩れ落ちて、御座に着いておられる方の御顔と、子羊の御怒りから私たちを隠してくれ。神と子羊の御怒りの、大いなる日が来たからだ。だれがそれに耐えられよう。」

\* 神から身を隠す罪人の姿 ...最初に隠れたのはアダムとエバ。

\* 山々や岩 ...権威を示す。ここでは神に敵対する悪の権威か。

■ この期に及んでも悔い改めない、罪人の姿。

➔ 自らの罪を認めて、福音を信じれば、救いの道は開かれる。





## Ⅲ. イエスの予告と黙示録

マタイ福音書24章と黙示録6章

## 【反キリスト】 マタイ24:3~6

24:3 イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのですか。あなたが来られ、世が終わる時のしるしは、どのようなものですか。」

24:4 そこでイエスは彼らに答えられた。  
「人に惑わされないように気をつけなさい。

24:5 わたしの名を名乗る者が大勢現れ、  
『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。

24:6 また、戦争や戦争のうわさを聞くことになりますが、  
気をつけて、うろたえないようにしなさい。

そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません。



【戦争・飢饉。世界宣教・大迫害】 マタイ24:7~14

24:7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。

24:8 しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。

24:9 そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

24:10 そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。

24:11 また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。

24:12 不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

24:14 御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。



【反キリストによるイスラエルの迫害】 マタイ24:15~21

24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら

—読者はよく理解せよ—

24:16 ユダヤにいる人たちは山へ逃げなさい。

24:17 屋上にいる人は、家にある物を取り出そうとして下に降りてはいけません。

24:18 畑にいる人は上着を取りに戻ってはいけません。

24:19 それらの日、身重の女たちと乳飲み子を持つ女たちは哀れです。

24:20 あなたがたの逃げるのが冬や安息日にならないように祈りなさい。

24:21 そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような、大きな苦難があるからです。



【定められた7年の大患難】 マタイ24:22~26

24:22 もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。  
しかし、選ばれた者たちのために、その日数は少なくされます。

24:23 そのとき、だれかが『見よ、ここにキリストがいる』とか  
『そこにいる』とか言っても、信じてはいけません。

24:24 偽キリストたち、偽預言者たちが現れて、できれば選ばれた者たち  
をさえ惑わそうと、大きなしるしや不思議を行います。

24:25 いいですか。わたしはあなたがたに前もって話しました。

24:26 ですから、たとえだれかが『見よ、キリストは荒野にいる』と言っても、  
出て行ってはいけません。

『見よ、奥の部屋にいる』と言っても、信じてはいけません。

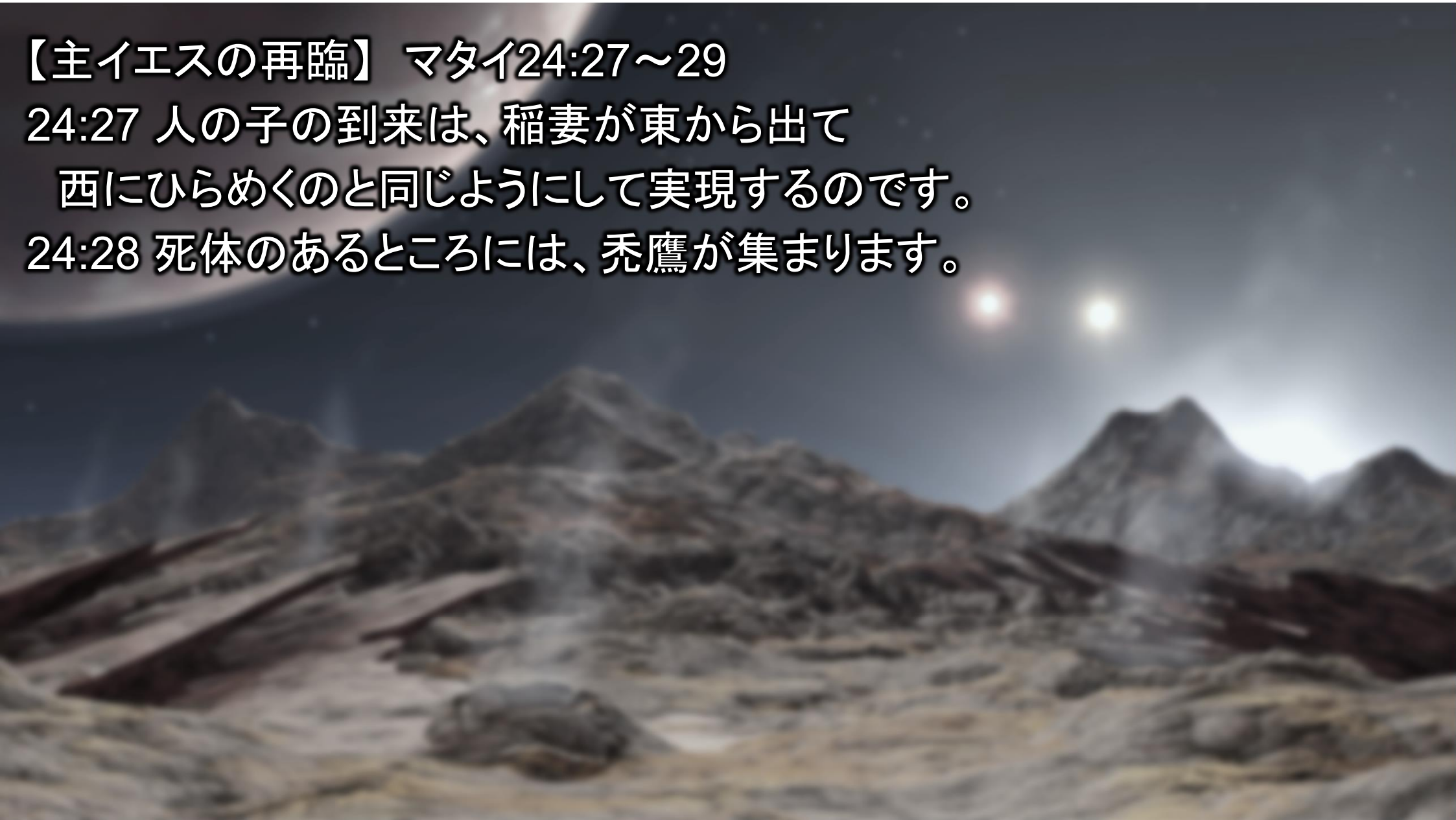


【主イエスの再臨】 マタイ24:27~29

24:27 人の子の到来は、稲妻が東から出て

西にひらめくのと同じようにして実現するのです。

24:28 死体のあるところには、秃鷹が集まります。



【主イエスの再臨】 マタイ24:27~29

24:27 人の子の到来は、稲妻が東から出て  
西にひらめくのと同じようにして実現するのです。

24:28 死体のあるところには、秃鷹が集まります。

24:29 そうした苦難の日々の後、ただちに太陽は暗くなり、  
月は光を放たなくなり、星は天から落ち、  
天のもろもろの力は揺り動かされます。



## 【イエスの終末預言(マタイ24章)と黙示録6～7章の対比】

マタイ24章	黙示録6～7章
偽キリスト (マタイ24:4～5)	白い馬に乗った反キリスト (黙6:1～2)
戦争と戦争のうわさ (マタイ24:6～7)	赤い馬に乗った者 (黙6:3～4)
飢饉 (マタイ24:7b)	黒い馬に乗った者 (黙6:5～6)
飢饉と疫病 (マタイ24:7b)	青い馬に乗った者 (黙6:7～8)
迫害と殉教の死 (マタイ24:9～10)	殉教者 (黙6:9～11)
恐れと天変地異 (マタイ24:29)	恐れ (黙6:12～17)
世界宣教 (24:14)	ユダヤ人14,400人の世界宣教 (黙7:1～8)



## Ⅲ. まとめと適用

福音を信じた者の希望  
大患難時代の希望

## 【福音を信じた者の希望】 I テサ5:9～10

「神は、私たちが御怒り\*を受けようではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。」

\* 御怒り ...主の裁き。大患難時代。

■ 大患難時代から逃れる唯一の道は、福音を信じること。

“主イエス・キリストは、私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、死を打ち破って復活された。”



## 【大患難時代の希望】 黙示録6:9

「私は、神のことばと、自分たちが立てた証しのゆえに殺された者たちのたましい\*が、祭壇の下にいるのを見た。」

\* 大患難時代に福音を信じて迫害された殉教者たち。

■ 大患難時代の前に、教会は、携挙される。

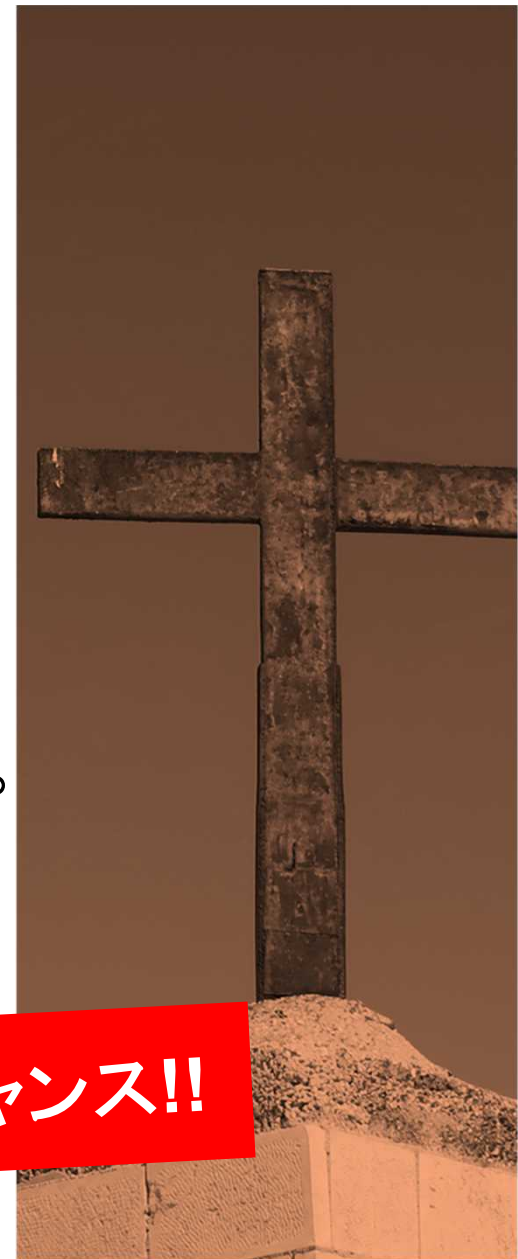
➡ 黙示録5章～22章まで教会という言葉はない。

■ 福音を信じたユダヤ人144,000人が、世界宣教へ派遣。

かつてない数の人々が、福音を信じて救われる。

➡ 反キリストによる大迫害によって、多くが殉教する。

**大患難時代は、福音を信じて救われる、最後のチャンス!!**



## 【最善の道か。次善の道か。それとも滅びか】

■ 最善の道は、今、福音を信じて救われること。

その人は、大患難を免れ、天に挙げられる。

■ 次善の道は、大患難時代に御国の福音を信じること。

御国の福音は、大患難時代に告げられる福音。

“主イエスが間もなく再臨し、神の国を建てられる”

ということ。

■ 今の時代も、大患難時代も、最後まで福音を拒んだ者は、

神の裁きを受けて、一切の恵みを失い、

永遠の滅びにいたる。



## 【聖書の終末観が、クリスチャンに与える力とは？】

■ 聖書の希望は、終末的希望。

栄光の主イエスが再臨されるとき、すべての悪は裁かれ、世界は楽園に回復される。

■ 人間的な努力で、世界に平和を作り出すことはできない。

独裁、大虐殺、大飢饉、破壊と破滅、戦争が、人間がもたらした結果。

■ 終末観に立つクリスチャンは、現実に対しては、誰よりもリアリスト。

クリスチャンは、現状認識においては、悲観的。

しかし、将来の希望においては、誰よりも楽観的でいられる。

福音を信じ、聖書の終末観に立って、今を生きる力を得よう。



「天のお父さま。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、  
①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、  
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、  
③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。  
主イエスは、再(ふたた)び来(こ)られ、神の義(ぎ)をなしとげられます。混沌(こんとん)の時代(じだい)のただなかに、  
平安(へいあん)をもって送(おく)り出(だ)してください。  
心開(こころひら)かれた人々に、福音(ふくいん)を告(つ)げ  
知(し)らせる者(もの)として用(もち)ってください。  
主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」

# You Tube バイブルスタディ

★次回予告：10月27日(火) 午前10時より

(※基本的に、第2、4火曜日10時から!!)

## 第7回 「大患難時代・七つのラツパの裁き」

★Zoomでの分かち合いのコーナーも!!

11時15分くらいから、分かち合いの時間を持ちます。

